



府中一小だより

令和7年7月18日

第5号

府中市立府中第一小学校

校長 宮内 和夫

今年は44日間、よい夏休みをお過ごしください

校長 宮内 和夫

保護者の皆様には既にご案内のとおり、東京都教育委員会は、東京のすべての子供たちが自分らしく成長できるように「東京都教育ビジョン(第5次)」を令和6年8月に策定しています。その策定に当たっては、子供たち1万人に「学校に、こうあってほしいこと」を聞いています。回答例として「子供に考えを過度に押し付けず、自分で考え、行動していく力を養う場所であってほしい」という声が掲載されています。(右記QRコードより「子供版」が参照できます。ぜひご家族でご覧ください。)



5年生は7月1日から4日まで長野県茅野市白樺湖畔へわくわく自然教室に行ってきました。宿舎到着後にロビーで学年担任団のやりとりが聞こえてきました。

主担当教員 「放送を使ってこの後の室長会議の集合をかけたほうがいいですか？」

学年主任 「しおりに書かれていることは子供たちに任せよう。」

学年副主任 「子供たちを信頼して大丈夫だよ。」

滞りなく予定を進めていくことも大切ですが、根源的な目標である「子供たちが自分で考えて行動する」ことを学年担任団が重視していることが伝わってきて、自然教室の成功を確信しました。冒頭の「東京都教育ビジョン」の子供たちの回答「子供に考えを過度に押し付けず自分で考え、行動していく力を養う場所であってほしい」という願いを今後の教育活動でも常に意識していきたいと思えます。

わくわく自然教室では八島湿原ハイキングや牧場での体験、アドベンチャープログラムでの個人や集団としての学び、宿舎での共同生活の中で、本校の教育目標である「よく考える子」「なかよくたすけあう子」「つよいからだの子」「心ゆたかな子」の具現化を図りました。子供たちの活動の様子を適宜配信したことで、現地での「学びと育ち」を保護者の皆様にも感じていただくことができたのではないのでしょうか。4日間、子供たちが集団で過ごすことで育っていく姿を間近で見られたことは、我々大人にとっても大変有意義な時間でした。府中第一小学校の伝統を引き継いでいく5年生、今後の活躍に期待していきましょう。



1年生にとって初めての学校生活はいかがだったでしょうか。登校時の元気な挨拶、全校朝会での並び方、毎朝の朝顔のお世話などの学校生活を見ていると府中第一小学校によく適応してきたと思います。2年生から6年生は進級後の4か月で、まずは体が一回り大きくなりました。内面もしっかりした感じでそれぞれに頼もしくなりました。特に6年生の縦割り班でのリーダーシップが素晴らしかったです。

学級での授業や生活を基として、春の運動会、きょうだい学年でのポット苗植え、今年度から始まった縦割り班活動などの行事が各学年共に成長のよりよい契機となったようです。

この1学期中、本校に様々な場面でご協力くださった保護者・地域の皆様には、心からお礼を申し上げます。前述の「東京都教育ビジョン」には「学校や家庭など、様々な大人が力を合わせて どの子もみんな、将来への希望を持って、自分らしく成長していくことを目指します」と明記されています。今後とも保護者・地域の皆様と連携しながら学校経営を進めてまいります。ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今年度から熱中症対策で昔のように夏休みが8月いっぱいまでと少し長くなりました。子供たちにとっては、自分で考えて行動する時間が増えたことはいずれのことだと思えます。

何よりも心と体、命を大切に、よい夏休みをお過ごしください。9月1日に一回り大きく成長した元気な子供たちとの再会を楽しみにしています。